

平成 29 年度

環境部の運営方針

<部の構成>

環境総務課、減量業務室、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所、環境保全課、環境指導課

<担当事務>

- (1) 廃棄物の適正処理に関すること。
- (2) 一般廃棄物の収集及び処理に関すること。
- (3) 地球温暖化対策等に関すること。
- (4) 市立火葬場（やすらぎの杜）に関すること。
- (5) 公害の防止及び指導等に関すること。

<部の職員数>H29年4月1日現在

正職員	275名
再任用職員	30名
任期付職員	-名
非常勤職員	2名
合計	307名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

環境部では、「みんなでつくる、環境を守りはぐくむまち 枚方」の実現に向けて、市民、事業者等と連携・協力し、家庭ごみをはじめとする市民にとって最も身近な生活環境から、地球温暖化などの地球環境の保全に至るまで、私たちの日常生活を支える環境に関する幅広い施策・事業を実施しています。

平成 29 年度は、引き続き京田辺市と連携を図りながら枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備が行えるよう取り組むとともに、淀川衛生工場では効率的・効果的な処理を行うため、し尿等を希釈して公共下水道に放流する改造工事を実施します。

空き家・空き地への対策としては、平成 29 年 4 月から施行している枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例に基づき、特定空家等に対する適切な指導等を行うとともに、法に基づく空家等対策計画の策定を行います。

また、地球温暖化対策実行計画の改定作業を進めるとともに、平成 29 年度から平成 30 年度にかけ、市民参加型の自然環境調査を行い、市民の自然環境への関心と理解を高め、市域の自然環境の現況把握に取り組みます。

2. 重点施策・事業

(1) 可燃ごみ広域処理施設の整備

目標	平成 28 年 5 月に設立した枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。
取り組み	枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価の実施など、京田辺市と連携しながら、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、取り組みを進めます。 平成 29 年度当初予算：110,379 千円

(2) 地球温暖化対策の推進とごみ減量の取り組み

目標	地球温暖化対策実行計画を改定し、市民・市民団体・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー・省CO ₂ 活動、4Rの普及・啓発によるごみの減量・リサイクルなどの取り組みを推進することにより、市域で排出される温室効果ガスの削減を図ります。
取り組み	「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定作業を進めるとともに、「枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の次期計画を策定します。また、環境にやさしいライフスタイルへの転換やペットボトル・プラスチック製容器包装、紙類等のごみの資源化を促進するため、引き続き情報発信・啓発活動等に取り組みます。
	平成29年度当初予算：272,054千円

(3) 空き家・空き地対策の推進

目標	管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行うとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく枚方市空家等対策計画を策定し、本市における総合的な空家等対策に取り組みます。
取り組み	枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例を平成29年4月より施行し、空き家と同様に管理不良な空き地等に対する指導等を行います。また、法に基づく空家等対策計画を策定します。
	平成29年度当初予算：10,149千円

(4) 淀川衛生工場し尿処理施設の整備

目標	淀川衛生工場の処理設備の老朽化や公共下水道の普及に伴うし尿等の処理量の減少に対応し、効率的・効果的な処理を行うため、平成29年度中にし尿等の希釈放流を開始します。
取り組み	し尿等の希釈放流の開始に向けた施設の改造工事を行います。
	平成29年度当初予算：357,000千円

(5) 市民との協働による環境施策の推進

目標	第6回目となる市民参加型の枚方市自然環境調査を実施するとともに、アダプトプログラムを推進させることで、市民の環境への関心と理解を深め、市域の環境保全に取り組みます。
取り組み	平成30年度にかけて市民参加による自然環境調査を実施するとともに、市民との協働によりアダプトプログラム実施団体による美化活動の支援を継続し、環境保全に対する市民の理解と関心を深めます。
	平成29年度当初予算：9,233千円

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議の経営改善を促進するため、中期経営プランに掲げる会員数の増加等の目標について進捗管理を行います。
25. 大気汚染測定局の配置等の見直し	市が設置している大気汚染測定局の配置等の見直しに向け、大気環境や交通量などについて、各測定局間の変化の状況を把握します。
26. し尿処理業務の効率化	淀川衛生工場は、処理設備の老朽化や処理量の減少に対応するため、し尿等を希釈して公共下水道へ放流する施設に整備し、効率的・効果的な処理を行います。
27. ごみ焼却量の削減	手付かず食品等の発生抑制や紙類等のリサイクルの取り組みなどを充実・強化し、ごみの減量化に向けた取り組みを進めます。また、家庭系ごみ処理手数料については、適正化の検討を進めます。
28. 事業系ごみ処理手数料の適正化	廃棄物の処理及び清掃に関する法律による排出者責任の考え方に基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう、事業系ごみ処理手数料改定によるごみ減量の効果を検証します。
45-4. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（し尿等処理・施設管理業務）	希釈放流施設に整備することで、処理設備が簡素化するため、運転管理に民間活力も視野に入れた検討を行い、職員配置の適正化を図ります。
45-5. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ収集業務）	市の責務として市民生活に著しい影響を与えないため、セーフティネットを確保しながら、段階的（平成 29 年度から平成 31 年度の間において、1 台/年・計 3 台）な委託化を進めます。
45-6. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ処理・施設管理業務）	東部清掃工場は、今後も運転管理等の業務は民間に委託して、施設を運営します。一方、老朽化が進む穂谷川清掃工場については、長年施設の運転・維持管理業務を担ってきた職員の知識・経験・技術力が必要であることから、直営と委託の併用で運転管理を行います。また、平成 35 年度の第 3 プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を行います。
51. 広域連携によるごみ処理施設の整備	枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の整備について、京田辺市と連携を図りながら、平成 35 年度の稼働に向けた取り組みを進めます。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
環境教育・環境学習の充実	学校園の環境教育・環境学習の効率化を図り、「いつでも・どこでも・だれでも」をキーワードに、あらゆる世代が多種多様な機会や場所で分野横断的に受講できる体系の再構築を検討します。
公用車の事故防止	無事故・無違反チャレンジコンテストへの参加や安全運転・安全作業マニュアル研修等の実施など、公用車の事故防止対策の充実を図ります。
知識・技術継承のための取り組み	より効率的・効果的な業務の体制づくりのため、新たな業務マニュアルの作成等に取り組むとともに、既存の業務マニュアルの最適化に努めます。

4. 予算編成・執行

- ◆溶融飛灰に含まれる金属などを山元還元により資源として再利用するとともに、溶融スラグを土木資材等への活用を具体的に検討することで、焼却灰等の最終処分（大阪湾広域廃棄物埋立処分場への埋立処分）に係る経費の削減をめざします。
- ◆穂谷川清掃工場、東部清掃工場及び大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の売電収益として、平成29年度は、約3億円の収入を見込んでいます。



穂谷川清掃工場



東部清掃工場

- ◆市施設への太陽光発電設備のさらなる設置に向け、国・府の補助金の動向を注視し、その活用をめざします。

5. 組織運営・人材育成

- ◆定期的な部内会議・次長会議を通じて、組織目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行い、部内各課が連携・協力しながら、より効率的・効果的に事務を執行します。
- ◆現場での業務経験の蓄積や個々の研修成果を部内・課内で共有化することで、組織全体の技術力や知識などのレベルアップをめざします。
- ◆OJTをはじめとする研修の充実を図り、職員一人ひとりのスキルの向上にも努めるとともに、お互いに学び合う風土を醸成することで、自律型職員の育成に努めます。

6. 広報・情報発信

- ◆穂谷川清掃工場内のひらかた夢工房において、市民ボランティアによる講習会や発表会等を開催するなど、ごみ減量やリサイクルに関する情報を広く市民に発信します。
- ◆ごみ減量フェアや天の川クリーン&ウォーク、氷室ふれあい里の駅等を「環境フェスタ」として一体的に開催するとともに、自然観察会や講演会の開催、各種啓発キャンペーン、ひらかたクリーンリバーなど、市民等と連携したイベントを実施し、効果的な環境啓発を行います。
- ◆サブリ村野の環境情報コーナーの展示をさらに充実させ、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携・協力し、省 CO₂ 活動や市の環境保全活動を効果的に PR します。
- ◆穂谷川清掃工場や東部清掃工場、大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」において、小学生等の施設見学を通じて市の環境施策を発信します。
- ◆大阪府からの事務移譲に伴う新たな事務について、広報誌やホームページ等によりわかりやすい窓口案内を行います。



ひらかた夢工房



枚方ソラパ